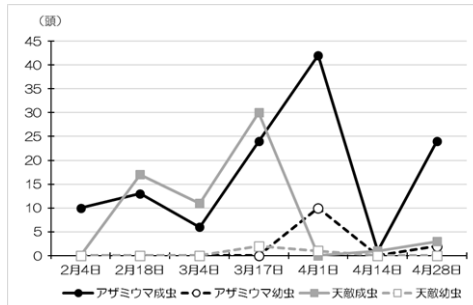


八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班（8月分）

標 題	いちごの天敵アザミウマによる防除効果を巡回指導で生産者に周知		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和4年8月17日～18日	場所	西予市宇和地区	
指導対象	いちご生産者（17人）	連携機関	JAひがしうわ	
普及指導内容	○いちごの果実を加害するアザミウマ類に対する天敵アザミウマの防除効果について、個別巡回指導で生産者に周知した。 ○3月中旬まで天敵成虫・幼虫ともに増加を確認し、3月は薬剤防除の必要がなく、一定の防除効果が認められたものの、4月以降はアザミウマ類の増加が目立ったことから、利用にあたっては、ほ場への十分な定着がポイントと説明した。			
結果と今後	○令和3年産でアザミウマによる被害が大きかった生産者1人が関心を示し、令和4年産から利用を検討しているため、導入に向けてフォローする。 ○西予地域のいちご栽培における IPM への取組が拡大しており、今後、定着に向け一層の普及推進を図る。			



左：天敵アザミウマ
右：100花あたりのアザミウマ類・天敵の頭数

標 題	地元高校生によるにんにく加工品づくりを支援		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和4年8月1日	場所	西予市野村地区	
指導対象	野村町生活研究会員（2人） 県立野村高校生（3人）	連携機関	県立野村高校、野村町生活研究会	
普及指導内容	○大野ヶ原で産地化を進めるにんにくの需要拡大と PR を図るため、畜産科生徒による加工品づくりの研修会を開催した。 ○研修会では生活研究会員を講師に招き、にんにくを利用したソースづくり実習と他の食材や調味料との組み合わせ等について指導した。			
結果と今後	○大野ヶ原で生産されるにんにく栽培や調理・加工方法について、認識を深めるとともに、高校生と女性農業者との交流が図られた。 ○当日試作したソースは今後も検討を重ね、11月開催のえひめ南予きずな博「BBQ ソース甲子園」への出品を計画している。			



左：ソースづくりの説明
右：試作品の完成